



くじ市 少年センター だより

～つながりの中で子どもを見守る～

久慈市川崎町1-1 社会福祉課 ☎0194-52-2111

令和8年 11月号

＜発行・編集＞
久慈市少年センター

通算 **418** 号



☞ 久慈市ホームページでご覧頂けます

久慈市少年センター ホームページ ☞



補導活動は☞スマホで簡単入力！☞



🔑 紙面のその先へ ～久慈市少年センターのホームページをご覧ください～

少年センターだよりでは、毎月、街頭巡回や見守り活動、青少年を取り巻く課題などをお伝えしています。でも、紙面だけでは紹介しきれない情報もたくさんあります。

[久慈市少年センターのホームページ]では、青少年の健全育成、街頭・見守り活動、SNSやインターネット、非行・犯罪被害防止、相談・支援など、子どもたちや保護者、地域の皆さんに役立つ情報を随時掲載しています。

また、年齢に合わせて情報をまとめた「くじ青少年みらいナビ」では、小学生・中学生・高校生・保護者、それぞれに向けた情報を見ることができます。「ちょっと気になる」「もう少し知りたい」と思ったときに、ぜひホームページをのぞいてみてください。

少年センターだよりを読んだら、次はホームページへ。
紙面とホームページをつなぎながら、子どもたちの「知りたい」「困った」に役立つ情報をお届けしていきます。



紙面では紹介しきれない情報はこちら
少年センターの最新情報・青少年向けの啓発情報
を掲載しています
QRコードを読み取ってご覧ください！

🍁 今月のポイント

** 夕暮れ時は要注意！早めの帰宅で安全に **

11月は日が暮れるのがさらに早くなり、放課後の時間帯から周囲が暗くなります。
学校や部活動、遊びなどから帰る子どもたちが、安全に帰宅できるよう、地域で見守りましょう。

🕒 巡回時のポイント 夕暮れが早い季節 安全に、気をつけて帰らせよう！

- ✓ 放課後の公園や商業施設などで、長時間過ごしている児童生徒がいませんか
- ✓ 日没後も屋外で過ごしている児童生徒の様子
- ✓ 自転車の無灯火や、スマホを見ながらの歩行・自転車運転
- ✓ 寒さや暗さの中で、一人で帰宅している子どもの様子
- ✓ 友人同士で過ごしている児童生徒に、困っている様子や普段と違う様子はないですか

🗣️ 声かけの例

- ☺ 「こんにちは。今日は寒くなったね。気をつけて帰ってね。」
- ☺ 「もう暗くなってきたね。気をつけて帰ろうね。」
- ☺ 「自転車はライトをつけて、安全に帰ってね。」
- ☺ 「スマホを見ながら歩くと危ないよ。気をつけてね。」
- ☺ 「何か困ったことがあったら、いつでも大人に相談してね。」



青少年のインターネット・リテラシー 「便利に使う」から、「正しく判断して使う」へ

ネット・リテラシーの正答率は?

どの年代も正答率は約7割。
ネットを使うこと、安全に判断できることは同じではありません。正しく知り、考えて使うことが大切です。



年齢によって、苦手なリスクが違います。

子どもたちがインターネットで直面しやすい危険は、成長とともに変わっていきます。

だから、年齢に応じて学ぶ内容も変えることが大切。 正しく知って、安全に使える力を育てましょう。



家庭でルールを決めている子ほど、 正答率が高い。



家庭に利用ルールがある場合の
正答率の差

家庭に利用ルールがある割合



学校で学んだ経験が、 ネット・リテラシーと関係しています。

インターネット利用時の注意点や対応策を教わった子どもは、そうでない子どもより正答率が高くなっています。

**ネット・リテラシーは、
自然に身につくものではありません。**
家庭や学校で「なぜ危険なのか」「どう判断するのか」を具体的に学ぶことが大切です。

学校・家庭・地域が連携して
子どもたちの「考える力」を
育てましょう。

学校で教わった
子どもの
正答率の差



年齢に合わせて、伝える内容も変えよう。

子どもたちがインターネットを安全・安心に使うために、年齢に応じたポイントを伝えることが大切です。

知識 正しい情報を知る
判断 危険を見分ける
行動 考えて、正しく使う
この3つの力を
バランスよく育てることが、
これからのネット教育です。



※インターネット・リテラシーとは、インターネット上の情報を正しく理解し、完全かつ適切に判断・活用する能力のことです

詳しくは、久慈市少年センター「ネット・リテラシーについて」をご覧ください。

街頭補導巡回活動報告

令和8年秋季の少年補導委員さんの報告書から抜粋し、掲載いたします。

9月14日(月)16時～18時

雨の巽山公園では、高校生や小学生が雨宿りをしながら楽しそうに過ごしており、風邪をひかないよう声をかけました。ヨムノスでは、図書館の休館のためロビーや踊り場などで過ごす中高生の姿が多く見られ、勉強や友人との会話にそれぞれの時間を過ごしていました。ユニバース、久慈駅、カラオケ・ワンダ、土風館でも生徒の姿が見られましたが、問題行動はなく、無事に巡回を終えました。

声かけへの反応も良く、少年センターの認知が少しずつ広がっていると感じました。

10月7日(水)17時半～19時半

高校生4人に「くじ青少年みらいナビ」の啓発カードを配布し、会話を交えながら、青少年向けの情報発信を行いました。



を配布し、会話を



編集後記

街頭巡回で子どもたちに声をかけることも、インターネットについて一緒に考えることも、子どもたちを見守る大切な活動の一つです。今月号を読んで「もう少し知りたい…」と思った方は、久慈市少年センター ホームページもご覧ください。紙面では紹介しきれない情報を掲載しています。知ること、声をかけること、気にかけること。その一つひとつが、子どもたちの安心につながっていけばと思います。